

社会福祉法人 愛敬福祉会

つぼみ保育園

園案内



園の概要

住所 〒613-0915
京都市伏見区淀際目町183-1
電話番号 (075)-631-8833
FAX 番号 (075)-631-8878



昭和55年4月に社会福祉法人愛敬福祉会つぼみ保育園として60名定員でのスタートでしたが、昭和58年4月からは90名定員となりました。
又、平成25年度より、広域入所として八幡樋ノ口、長町の子どもも措置入園が可能となりました。

園名であるつぼみ保育園の『つぼみ』には、“どの子どもも、はじめは小さなつぼみだが、日々、たゆまぬ力をつけて、だんだんふくらみ、やがて大きく花を開かせてほしい…”との思いが込められています。



保育理念

一人ひとりの子どもの
それぞれの成長を大切にする

基本方針

『一人ひとりに寄り添い、心を寄せる』
『一人ひとりが心身ともにたくましく育ち、やり抜くことで、
心と体の力になることを願い、ともに努力する』
『やさしい気持ちをもつ』

保育目標

乳幼児の成長発達の段階に応じた存分なあそびの中から、基本的な生活習慣を身に付けさせる。また、運動と給食による体力づくりを通して、心身とも健全で優しさ・忍耐力・思いやりのある子どもに育てる。

開園時間

平日 7:00～19:00

土曜日 7:30～17:00

保育短時間…8:30～16:30

* 延長保育…7:00～8:30 16:30～19:00

保育標準時間…7:00～18:00内（認定された時間）

* 延長保育…18:00～19:00



休園日

年末年始（12月30日～1月4日）

国民の祝日、休日



一時保育

別紙参照



給食

全園児、麦飯を主とした完全給食です。



経費

＜毎月納めていただくもの＞

・給食費 3才児・4才児・5才児

（0才児・1才児・2才児については要りません）

＜その他必要なもの＞

- ・個人持ち道具類
- ・クラス別カラー帽子（全園児）
- ・氏名印（全園児）
- ・連絡ノート（乳児）
- ・園外保育、一泊保育にかかる実費
- ・卒園積立費（年長児）
- ・体操服（幼児）



用意していただくもの



着替え用衣服、下着、手拭きタオル1枚、午睡用布団
紙パンツ（使用済み紙パンツは、園で処分します）

2才児以上・・・コップ

3才児以上・・・通園カバン（リュックサック可）、上靴
スモック、クッキング用エプロン・三角巾

病気・けがについて



- ・伝染病疾患（インフルエンザ、おたふくかぜ、はしか、水ぼうそう、手足口病、とびひ、百日咳、結膜炎、新型コロナなど）にかかった場合は、必ず医師による「登園してもよい」という了解が必要です。
- ・高熱やひどい下痢・嘔吐、激しい咳、極端な食欲不振など、健康状態が悪いときにはお迎えにきていただきます。
- ・アレルギーによる除去食や生活上の配慮を必要とする場合は、所定の診断書と検査結果を提出していただきます。除去食を解除するまでの間、定期的に受診をしていただき、年に1回診断書を提出していただきます。
- ・園で怪我があった場合、できるだけの処置をとり、必要があれば医師の診察を受けます。



保護者の方に参加していただく行事

保育参観、試食会

（4～6月）



つばみ夏まつり（7月）



運動会（10月）

生活発表会（12月）



親子で楽しむ最後の給食会

（2月 年長児のみ）



卒園式（3月 年長児のみ）

クラス懇談会、個人懇談など（全園児）

※ただし、感染症流行などにより、実施できない場合もあります。



つぼみっこ便り 運動

会編

運動会は日々の保育の積み重ね。
子どもたちが、保育園で毎日あそび、生活し、友達と関わり、そこで培った力を
さまざまな運動という形で、お父さんお
母さんに見てもらう日。



小さいときから、鉄棒遊びをして
きました。足抜きまわりが出来
たら・・・前回りに挑戦する！
年長組は逆上がりを目標に鉄棒
にむかう日々



春に親子で竹馬づくり・・・そこから
初めの一步ができるまでに4か月
かかる子もありました。でも、必ず全
員が一人で歩けるようになります。



日常の大切さ。

よく食べ、よく遊び、よく眠る。

保育園が楽しく、お家でほっこり甘えられる。

認めてもらえることが、何より自己肯定感を
育み、子どもの自信につながります。

こどもが、体も心も元気であることが、何よ
りの願いです。



一人ひとりに寄り添い
心を寄せる



登り棒は、うめ組の頃から興味を
もって登りたがる子もいます。
ばら組、ふじ組では、毎朝体操の後
の日課になっていきます。



つぼみっこ便り 運動会編 2

保育園でみんなと一緒に大きくなる。
子どもたちの『いま』をみてもらいたい。



保育園は楽しいところ。
先生たちは優しく受け止めてくれる。
そんな安心を得た子どもは、ぐんぐんあそび出し、体の力もつけていきます。
足の指・・・踏みしめる力・・・手の握り・・・腕の力・・・体幹・・・。



登れるし、飛べるし・・・バランスよく着地できた。かっこいい。



2歳児の子ども。自分が拾った赤玉を、
お友達に分けてあげる。なんとも微笑ましい。

やさしい気持ちをもつ



保育園でお家のように甘えたり、自我を出せることは
大事。でも、ここは、社会でもあり・・・お友達との関係を通
して、共感・思いやり・他者を認める心が育ってほしいと願
っています。

つぼみっこ便り 運動会編 3



一人ひとりが心身ともたくましく育ち
やりぬくことで心と体の力になることを願い
共に努力する



『一人ひとりのこどもの それぞれの成長を大切にする』つぼみ保育園の保育理念です